

## 今後に向けての学校の考え（学校関係者評価を受けて）

### 1. 目指す教師について

- ・ 生徒に教える立場であることを自覚し、ブレない指導をしていくことが大切であると同時に、生徒と同じ立場に立って、生徒に範を示すことも大切である。両方がバランスよく発揮されることが、生徒や保護者の信頼につながると思う。そして、ビジョンと私学人としての自覚を持って、チームワークを築いていくことが重要である。

### 2. 学習指導について

- ・ 昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、オンラインによる授業や課題配信など、ICT を用いた学習スタイルが大きく前進し、これが追い風となり、GIGA スクール構想の実施が前倒しとなった。本校では中学生全員と高以降1年生に一人1台の端末（iPad）を持たせ、授業・補習・スリーライトクラス・家庭学習・家庭との連絡等に利用することになっている。
- ・ 本校ではすでに全教室にプロジェクターを設置し、ICT を用いた授業を行っているが、昨年度のオンライン授業実施等で、教員のICTスキルもより向上してきている。端末機を積極的に授業に利用していくことが今年度の課題となる。

### 3. 進路指導について

- ・ 中学生、高校生とも、より高い目標を持たせ、それを教員がしっかりとサポートし結果を出すことが重要な課題である。特に高校生の就職に関しては、コロナ禍の影響を受けていることから、生徒・保護者との話し合いを十分に行い適切な指導が必要である。

### 4. 生徒指導について

- ・ 生徒との信頼関係の上に生徒指導は成り立つと言っても過言ではない。生徒とコミュニケーションを図る中で、指導を進めていくよう心掛けている。また、保護者へは適宜連絡をとり、理解を得る努力をしている。
- ・ 今年度から、スクールソーシャルワーカーを配置し、生徒・保護者の心の問題はスクールカウンセラーが、生徒

を取り巻く環境の問題はスクールソーシャルワーカーが解決にあたり、双方をサポートする体制を整えた。

- ・ これまで通り、SNS に絡んだトラブル防止には気を配り、生徒への呼びかけを継続していく必要がある。

#### 5. 広報活動について

- ・ 本校はホームページの作成・運営を教員自らが行っているため、負担も大きいですが、すぐに情報を発信できるメリットがある。従って、できるだけタイムリーに情報提供を行い、学校の動きが見えるようにしていかなければならない。
- ・ 何といても、学校の一番の広告塔は生徒なので、生徒が活躍できる環境や場面を作ることが必要である。そして、生徒が自主的に活動できるよう教員が指導していかなければならない。

静岡大成中学校・高等学校